

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績		予算額				備 考
	H27年度		H28年度		H29年度		
3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	758,470	千円	316,108	千円	315,745	千円	
3 B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	843,477	千円	670,775	千円	564,819	千円	
計	1,601,947	千円	986,883	千円	880,564	千円	

※H28年度はH27年度補正前倒し含む
 ※H27・28年度は完了した事業の金額も含む

戦略プロジェクト3 A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3 A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
49.2	44.4	50.0				60.0

◆成果指標3 A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
5.7	6.3	6.1				8.0

<29年度の方針>

戦略プロジェクト3 A「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」は、子育て応援のまちの実現をめざし、子育て環境の充実、子育て世代の更なる定住促進を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」では、待機児童を解消するため、認定こども園及び小規模保育施設の施設整備に対する支援を行うことで、保育に係る受け皿の拡大を図り、待機することなく保育サービスが利用できる環境の整備を推進する。

◆推進プログラム②「子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実」では、「小中学校学習サポート事業」を継続するとともに、「小中学校外国語教育支援事業」として、外国語指導助手を小中学校に派遣することにより、引き続き外国語教育を推進する。また、「児童生徒体力向上事業」では、大学との連携により、各学校への体力向上の取組の普及を図る。

◆推進プログラム③「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」では、通年型施設の「ぽこ あ ぽこ」をはじめ、全市的に展開している出前型子育てひろばの「あそびのひろば」や「地域子育て支援センター」における子育て支援事業の充実を図るなど、引き続き地域における子育て支援を推進する。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備 ○多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応 	➤	<p><取組の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づき民間事業者への支援を行い、教育・保育提供体制を拡大）
---	---	---

事務事業	指 標	H27年度	H28年度(予算)	H29年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業	入所できた児童数	76人	97人	159人	
	事業費	113,219千円	165,706千円	249,189千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上 ○外国語活動の低年齢化への対応 ○スポーツに親しむ環境の整備 	➤	<p><取組の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての中学校で放課後の補充的学習を実施 ・小学校4年生以下へ外国語活動を拡大 ・大学による出前授業など、体力向上を支援
---	---	---

事務事業	指 標	H27年度	H28年度(予算)	H29年度(予算)	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣回数	3,732回	3,665回	3,665回	H29から指標を一部変更
	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	311回	346回	345回	
	事業費	9,237千円	9,327千円	9,329千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	83%	75%	80%	H29から指標を一部変更
	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	94%	95%	95%	
	事業費	635千円	657千円	679千円	
小中学校外国語教育支援事業	外国の人とコミュニケーションをとってみたいと考える児童生徒の割合	—	100%	100%	
	事業費	—千円	29,118千円	28,064千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開 ○身近な地域での子育て支援事業の充実 ○多世代交流の場の創出 ○あそびのひろば事業の推進 	➤	<p><取組の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子安心育成事業子育てひろばでのソフト事業の充実 ・あそびのひろば事業の充実やボランティアの育成など、様々な運営主体への支援の検討 ・子育て支援センター等における情報提供、交流事業 ・あそびのひろばにおける多世代交流事業
---	---	---

事務事業	指 標	H27年度	H28年度(予算)	H29年度(予算)	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延べ利用者数	85千人	80千人	80千人	
	託児延べ利用者数	646人	900人	900人	
	事業費	22,975千円	26,885千円	25,496千円	
あそびのひろば事業	あそびのひろば参加者数	1,278組	1,800組	1,500組	
	事業費	2,786千円	2,921千円	2,988千円	

戦略プロジェクト3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6	66.6				74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7	80.5				78.0

<29年度の方針>

戦略プロジェクト3B「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）」は、引き続き、野幌駅周辺の基盤整備やバス路線の再編、大麻地区におけるライフステージに合わせた住みかえ支援など利便性向上のための取組を進めるほか、人口減少対策としての定住促進を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上」では、引き続き江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）を着実に推進することにより、駅周辺における利便性の向上を図る。

◆推進プログラム②「交通ネットワークの充実」では、これまでの調査データなどを踏まえ、地域公共交通活性化協議会において、駅を中心としたバス路線の再編などの公共交通に関する計画策定を進める。

◆推進プログラム③「高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実」では、大麻地区を活動拠点として、地域おこし協力隊を活用した住み替え相談体制を充実させるとともに、ホームページ等による情報発信などを行う。また、親と同居・近居する世帯や多子世帯への住宅取得等を支援することにより、転入人口の増加及び転出人口の抑制を図る。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指 標	H27年度	H28年度(予算)	H29年度(予算)	備 考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業費進捗率(累計)	74 %	83 %	90 %	
	事業費	828,166 千円	609,606 千円	495,245 千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス交通の利用促進
- 南北間の交通ネットワーク構築と交通機能の向上
- バス利用に関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の策定によるバス路線の再編
- ・再編路線の運行計画の協議
- ・バス路線マップの随時見直しとバス利用の啓発を継続

事務事業	指 標	H27年度	H28年度(予算)	H29年度(予算)	備 考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	554 千人	523 千人	523 千人	
	事業費	13,616 千円	4,569 千円	12,927 千円	

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住み替えニーズの把握
- 高齢者の住み替え先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導
- 子育て世代の転入増加及び定住人口の維持



<取組の概要>

- ・大麻地区に住み替え相談窓口を開設するとともに、セミナー開催などのまちづくり活動を実施
- ・地域おこし協力隊を活用した住み替え相談体制の充実
- ・ニーズと事業者のマッチング事業の研究
- ・親と同居・近居するための住宅取得等への支援を実施するとともに、多子世帯の住宅取得を支援

事務事業	指 標	H27年度	H28年度(予算)	H29年度(予算)	備 考
大麻地区住環境活性化事業	住まい相談件数	5 件	10 件	15 件	H28事業費の一部はH27補正前倒し 1,608 千円
	事業費	1,695 千円	4,992 千円	6,163 千円	
住宅取得支援事業	支援により定住した世帯数	—	219 世帯	187 世帯	
	事業費	— 千円	50,000 千円	50,484 千円	